

### 3) 定期検査結果

表1 放流水

項目\区分	検体数	平均値*	最大値	最小値	保証値	法基準値
pH	12	6.5	6.8	6.2	5.8~8.6	5.8~8.6 <sup>1)</sup>
BOD (mg/L)	12	1.4	3.6	0.5	10	20 <sup>2)</sup>
COD (mg/L)	12	10	14	5.9	20	—
SS (mg/L)	12	1	2	1未満	5	70 <sup>2)</sup>
T-N (mg/L)	12	9.9	25	3.3	20	60 <sup>1)</sup>
T-P (mg/L)	12	0.06未満	0.06未満	0.06未満	1	8 <sup>1)</sup>
塩化物イオン (mg/L)	12	420	520	360	—	—
色度 (度)	12	7.3	14	4	30	—
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	12	30未満	30未満	30未満	3,000	3,000 <sup>2)</sup>

1) 水質汚濁防止法による 2) 廃棄物処理法による 分析機関：(株)静環検査センター  
 ※ 検出下限値未満については下限値を用いて集計 ※7月のみ：(公財)北九州生活科学センター  
 なお、T-Pの7月の結果(0.1未満)は0.06未満として集計

表2 ばいじん及び有害ガス

項目\区分	焼却炉		大気汚染防止法 による基準値	備考
	平成30年9月21日	平成31年3月7日		
ばいじん (g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> )	0.12	0.17	0.25	標準酸素濃度(12%)換算値
硫黄酸化物 (m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /h)	0.62	0.18	12.7 <sup>1)</sup>	—
窒素酸化物 (cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> <sub>N</sub> )	77	80	—	標準酸素濃度(12%)換算値
塩化水素 (mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> )	8未満	11	700	標準酸素濃度(12%)換算値

1) 煙突の高さ：15m、煙突口径：0.635m、排ガス量：13,855m<sup>3</sup><sub>N</sub>/h、排ガス温度：350℃、K値：17.5の設計条件より算出  
 分析機関：(株)静環検査センター

表3 水銀

項目\区分	焼却炉		大気汚染防止法 による基準値	備考
	平成30年9月21日	平成31年3月7日		
粒子状水銀 (μg/m <sup>3</sup> )	0.00024	0.00026	—	標準酸素濃度(12%)換算値
ガス状水銀 (μg/m <sup>3</sup> )	0.19	1.1	—	標準酸素濃度(12%)換算値
全水銀 (μg/m <sup>3</sup> )	0.19	1.1	50	標準酸素濃度(12%)換算値

分析機関：(株)静環検査センター

表4 ダイオキシン類

試料\測定年月日	平成30年9月21日	ダイオキシン類対策特別措置法 による基準値
排ガス (ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> )	0.053	10
焼却灰 (ng-TEQ/g)	0.0048	3
飛灰 (ng-TEQ/g)	0	3

分析機関：(株)静環検査センター

所  
見

- ・放流水の平均的性状は、各項目とも保証値及び法基準値を満足しているが、T-Nの最大値(25mg/L)は、保証値(20mg/L)よりも若干高くなっているため、運転管理に留意するとよい。
- ・焼却炉のばいじん及び有害ガス、水銀の測定結果は、各項目とも法基準値を満足している。
- ・ダイオキシン類の測定結果は、各試料とも法基準値を満足している。

# 試験成績書

大川柳川衛生組合

様

計量証明事業所 鹿児島県知事登録 第96号  
株式会社 静環検査センター  
本社：静岡県藤枝市高柳2310番地  
事業所：鹿児島県霧島市隼人町内字中原2265番7  
TEL：0995-43-8501 FAX：0995-43-6475  
環境計量士（濃度関係）  
（登録 第7975 号） 田島



受付年月日	令和元年8月1日	受付方法	収集
採取年月日	令和元年7月31日	採取時刻	11時30分
採取者	—		
試料名	乾燥汚泥		
採取場所	大川柳川衛生組合 筑水園		
特記事項	含有試験 窒素, リン酸, 加里, 銅, 亜鉛, 石灰, C/N比は現物、その他は乾物あたりの表記である。		

(採取以外の試料については、依頼者のお申し出により記載致しました。)

ご依頼を受けました上記試料について試験した結果を下記の通り報告致します。

(採取以外の受付試料については、搬入された時点から当方の管理下となります。)

試験項目	単位	試験結果	試験方法
窒素全量(T-N)	%	5.5	肥料等試験法(2017) 4.1.1.a
リン酸全量	%	4.3	肥料等試験法(2017) 4.2.1.a
加里全量	%	0.3	肥料等試験法(2017) 4.3.1.a
銅全量	mg/kg	220	肥料等試験法(2017) 4.10.1.a
亜鉛全量	mg/kg	990	肥料等試験法(2017) 4.9.1.a
石灰全量	%	2.1	肥料等試験法(2017) 4.5.1.a
ひ素	%	0.0015	肥料等試験法(2017) 5.2.a
カドミウム	%	0.00015	肥料等試験法(2017) 5.3.a
水銀	%	0.00004	肥料等試験法(2017) 5.1.a
ニッケル	%	0.003 未満	肥料等試験法(2017) 5.4.a
クロム	mg/kg	50 未満	肥料等試験法(2017) 5.5.a
鉛	%	0.001	肥料等試験法(2017) 5.6.a
炭素窒素比(C/N比)	—	6.2	肥料等試験法(2017) 4.11.2
水分含有量	%	7.2	肥料等試験法(2017) 3.1.a
— 以下余白 —			
備考：			

※試験結果欄に未満と表示されている数値は定量下限値を示します。

当社の許可なく、本試験成績書の一部を複製し使用することを禁止します。